

団体名：東久留米フードパントリーひよこ実行委員会

活動地域：東久留米市

助成額：49,029 円

【当初の目的に対しての結果】

食に困窮または、生活に不自由を感じている人たちへの食品の配布を通じて、市民の声を聴き取り、社会福祉協議会等と連携し、街づくりを考えるという目的であった。ボランティア希望の市民がこの間、複数、連絡があったり、子ども食堂へのスタッフとして参加など、市民の関心も感じる事ができた。この間複数回、利用してきた方々から、お礼のメッセージもいただいた。しかし、活動に関わる市民が、他の市民活動で忙しくしており、問題意識、が充分共有しきれなかった。配布のみに関わるボランティア、運営を考えるコアメンバー、その調整をする事務局、という体制は、維持するのが難しい。自治体の担当部局とどう意見交換し、市の政策化をしていくかという、市民との協働をどこまで市が考えているかは、掴み切れなかった。

【組合員へのメッセージ】

組合員の皆様からの募金により、たくさんの人たちが、当初からのフードパントリーひよこでの活動で貴重な食料品を受け取ることができたことを感謝しています。フードパントリーという聞きなれない言葉が、地域の中で、少しずつ広がり、また、行政関係者もその存在を広く知るようになったことは、東都生協のみなさま、お一人お一人の関係者としてのお力によるものです。東京都共同募金会の助成と東都生協さまからの助成があることで、市民からの寄付も集めることができました。感謝申し上げます。

【感想・意見・要望など】

この間、フードパントリーひよこをやってきたことで、知り合えたみなさま、多くの方は、お名前をうろ覚えぐらいにしか覚えられませんでした。当事者の中で数人の方々とは、今も、連絡を取り合い、その後の困りごとをお聞きしたり、関係機関の支援だけでは足りない部分を違う民間に繋げたりということもできるようになりました。対等な立場でお話を聞き続けるということ、今よりも半歩でも、前を向くためには何が必要か、そのために、民間としてできることは何か、行政に対し求めることは何か、何よりも大事なことは、一人ひとりの尊厳を守ること、今後もやっていきたいと思っています。「フードパントリーひよこ」としての活動は、終了しましたが、これからも、東都生協の皆様のを信じ、私もできることをやっていきます。ありがとうございました。